

埼玉版SDGsの推進 ——— これまでの成果と新たな取組

埼玉県企画財政部 計画調整課

県では、あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる「日本一暮らしやすい埼玉」を実現するため、県民の皆さまや企業・団体、市町村など多様なプレイヤーとの協働を通じて、ワンチーム埼玉でSDGsを推進する「埼玉版SDGs」を推進しております。今回は、「埼玉版SDGs」のこれまでの成果と新たな取組について御紹介します。

「埼玉版SDGs」を推進するプラットフォーム

令和2年4月に県庁内に「埼玉県SDGs庁内推進本部」を設置しました。知事が本部長となり、全庁一丸となって「埼玉版SDGs」を推進していくことを決定しました。

国（内閣府）では、SDGsを実現するポテンシャルの高い自治体を認定する「SDGs未来都市」という制度を設けており、本県も令和3年5月に「SDGs未来都市」に選定されました。提案内容に基づく3年間の取組内容を定めた「埼玉県SDGs未来都市計画」の第1期は令和5年度末で終了し、令和6年度から第2期計画に基づき取り組んでいます。

また、県の最上位計画である5か年計画（令和4年度～8年度）においても所管部局が個別に施策を進めるのではなく、部局横断でSDGsの視点を

もって施策の展開ができるよう全施策にSDGsの基本理念やゴールをリンクさせています。

しかし、SDGsの推進は県だけでなく、企業や市町村、NPO、金融機関など様々なプレイヤーが一体となって取り組んでいかなければなりません。そのため、令和2年9月に「埼玉版SDGs」の趣旨に賛同していただける企業・団体等が随時入会できる「埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム」を設置しました。

このプラットフォームでは、シンポジウムの開催、メールマガジンによる会員間の情報共有や自社の取組などの情報発信、官民連携による事業・取組を推進する分科会の設置などを通じて、多様なプレイヤーの積極的な参画を進め、SDGsの達成や社会課題の解決を目指しています。

「埼玉版SDGs」を推進するこれまでの取組と成果

次に県としてどのように取組や支援を行ってきたのか御紹介します。

(1) 「埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム」分科会及び検討部会

埼玉県SDGs官民連携プラットフォームでは、特定の分野におけるテーマを会員間で検討し、官民連携で取り組む「分科会」を設置しています。

令和7年度は、新たに「ネイチャーポジティブ推進」分科会と「水と人をつなぐ、水循環」分科会を設置し、計8つの分科会で個別具体的なテーマ



シンポジウムの様子



に関する課題解決に向けた検討・取組を行いました。

これまで、使用済みリチウムイオン電池からのレアメタル回収実証実験（令和6年度）、高校生と連携したフードドライブ（令和7年度）など、分科会の活動を通じて多くの取組が実現しました。分科会・検討部会の一覧は図表1のとおりです。

(2)埼玉県 SDGs パートナー登録制度

企業・団体等への支援として、SDGs に自ら取り組む県内企業・団体等を「埼玉県 SDGs パートナー」として登録する制度を運用しています。

この登録制度は、企業・団体等が「環境・社会・経済」のSDGsの三側面それぞれの取組・指標を自ら設定し、毎年進捗状況を確認することで、SDGs達成に向けた具体的な取組を促進するものです。

企業・団体の価値向上及び競争力の強化を図り、「埼玉版 SDGs」を共に推進することを目的としており、令和8年2月末現在、登録企業・団体数は2,206となっています。



埼玉県 SDGs パートナーロゴマーク

図表1 埼玉県 SDGs 官民連携プラットフォーム 分科会及び検討部会（令和7年度）

分科会	
「市町村」分科会	
「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会	
検討部会	水辺空間の持続可能な環境課題解決に向けた検討部会
	都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会
「未来を創る人材への投資」分科会	
「フードロス削減」分科会	
「サーキュラーエコノミー推進」分科会	
「カーボンニュートラル推進」分科会	
「ネイチャーポジティブ推進」分科会	
「水と人をつなぐ、水循環」分科会	

登録の対象となるのは、県内に本社又は支社等があり、県内で事業活動を行う企業・法人・個人事業主、NPO、団体、大学等です。申請書類について県で確認を行い、要綱に定める要件を満たしている場合、登録となります。

埼玉県 SDGs パートナーとして登録を受けた企業・団体等は、登録証が付与されるとともに、県が作成した専用ロゴマーク（左図参照）を使用して、SDGsに取り組んでいる事を店頭やホームページ、名刺などでPRできるほか、県ホームページ掲載による広報や、総合評価方式の入札加点などのメリットがあります。

(3)県民の参加促進

県民の皆さまがSDGsを気軽に学んでいただくため、埼玉版 SDGs 推進アプリ『S³（エスキューブ）』



県政出前講座の様子

を令和3年11月にリリースし、令和8年2月末現在、33,154件の登録をいただいています。一方、令和7年9月時点で、SDGsという言葉を知っている県民の割合は、ほぼ100%に達しており、アプリ運用開始時の目的の一つであったSDGsの普及については一定の成果が得られたことから、『S³ (エスキューブ)』については10月末で終了する予定です。

なお、これからSDGsを学ぶ県民の皆さまのため、『S³ (エスキューブ)』に掲載している情報は、県ホームページ内に設ける特設サイトへ移行し、引き続きSDGsを学習できる環境を確保していきます。

また、埼玉県SDGsパートナーである県内プロスポーツチームや大型商業施設と連携し、来場者を対象としたワークショップ等を実施しています。多くの方が日常生活においてもSDGsの取組を行うことを期待しています。

さらに、県職員が担当する施策を紹介する「県政出前講座」という制度があります。この制度を利用して、学校や会社等を訪問し、SDGsの概要を解説するとともに「埼玉版SDGs」の説明を行っています。本制度は、県内の企業・団体等が対象であり、無償で実施しています。従業員研修や顧客へのセミナーなど様々な企業・団体等に御活用いただいております。



ります。関心をお持ちの方は、是非、県ホームページからお問合せあるいはお申込みください。

(県政出前講座 URL <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0301/demae/theme.html>)

SDGsの認知と取組 ～県政サポーターアンケート～

次に県民一人ひとりの行動にどのような変化があったのか経年変化を見ていきます。

県では、毎年1回県政サポーターの方に御協力いただき、SDGs認知度や取組状況などを調査しています。結果は、**図表2**のとおりです。

この結果からSDGsの認知度、取組状況どちらも年を重ねるごとに増えていることが分かります。しかしながら、認知度が7割となった一方で、取組状況は半数に達していません。

今後は、いかにSDGsに取り組んでいる方を増やしていくのが課題となります。

「埼玉版SDGs」の新たな取組

次に、令和7年度から開始した「埼玉県サステナブル企業認証制度」、令和8年度から新たに取り組む「埼玉版SDGsアクション推進プロジェクト」を紹介します。

(1)埼玉県サステナブル企業認証制度

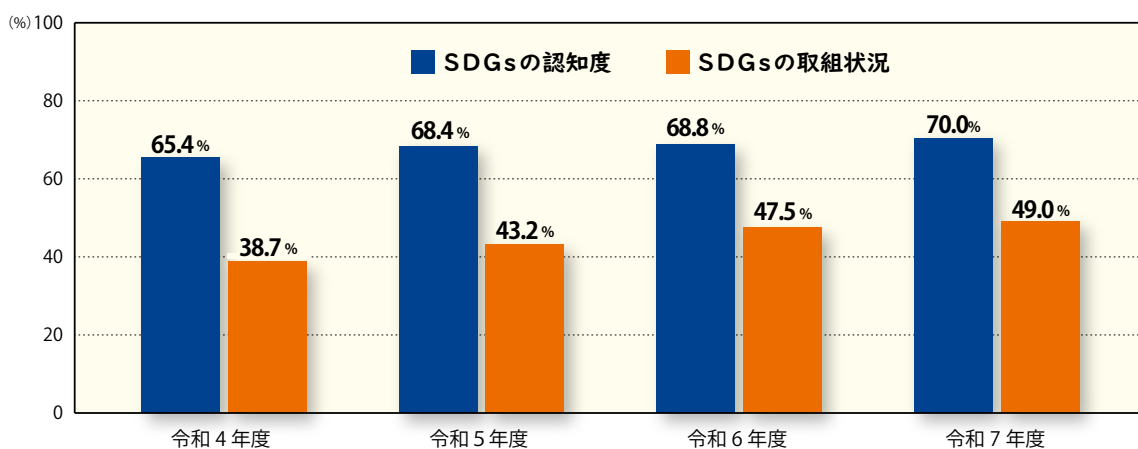
県内中小企業の持続的な経営やSDGsの達成を促進するため、高いレベルでサステナブル経営に取り組む企業を認証する「埼玉県サステナブル企業認証制度」を令和7年10月に創設しました。

本制度は、県内に事業所などを有する中小企業を対象としており、SDGsの三要素（環境・社会・経済）に関する20の審査項目で一定の水準を満たすことにより、プラチナまたはゴールド認証となります。

これまでの「埼玉県SDGsパートナー登録制度」は、企業等が自らSDGsの取組を表明・自己評価し、登録する仕組みですが、「埼玉県サステナブル企業認証制度」は、企業の取組を埼玉県が評価し、認証するものです。

サステナブル経営実現に向け、企業の取組状況を

図表 2 県政サポーターアンケート（SDGs の認知度及び取組状況）



注：SDGs の認知度……「内容を人に説明できる」「内容がある程度知っている」と回答した人の割合
SDGs の取組状況……「既に取り組んでる」と回答した人の割合



埼玉県サステナブル企業認証制度プラチナ認証ロゴマーク

見える化できる点に特徴があり、認証を取得した企業には、信用力の向上や人材定着・確保等のメリットが見込まれます。サステナブル経営に取り組む企業からの申請をお待ちしております。

令和 8 年度は、求職情報サイトや SNS を活用して制度及び認証企業の更なる PR に力を入れていきます。今年度も認証申請の受付を行う予定ですので、受付時期が決まりましたら県のホームページでお知らせします。

URL <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0102/sdgs/kigyouninnsyout.html>

(2) 埼玉版 SDGs アクション推進プロジェクト

2030 年が迫る中、SDGs 達成に近づくためには、ワンチーム埼玉で埼玉版 SDGs を推進し、実際に取り組む県民や企業等の輪をさらに拡大していくことが不可欠です。

そこで、企業等による県民の皆さまを巻き込んだ SDGs の活動を県が支援することで、SDGs の実践

的な取組を拡大する「埼玉版 SDGs アクション推進プロジェクト」を新たに開始します。

本プロジェクトでは、①情報交換会・交流会の開催による企業等のマッチング、②企業等の協働による県民参加のイベント等の開催、③企業等の取組を県が広報することなどを通じて、実践的な取組を支援します。

これにより、県民の皆さまが SDGs の取組に参加する機会を増やし、自発的な行動に結び付けていきます。

プロジェクトの詳細については今後随時、県ホームページ等でお知らせしますので、参画について御検討をください。

終わりに

「埼玉版 SDGs」は、令和 2 年度から始まり 7 年目となりました。その間、SDGs の認知度は向上し、SDGs に取り組む方は着実に増えてきましたが、SDGs 達成、ひいては「日本一暮らしやすい埼玉」実現のためには、これまで以上に強く推進していく必要があり、そのためには多くの方々の参画が不可欠です。

県の取組や支援などの詳しい情報は下記 URL にも掲載していますので、皆さまの SDGs 推進の一助としていただければ幸いです。

URL <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0102/sdgs/saitama-sdgs.html>